

「核兵器廃絶」「被爆者支援」「原子力の平和利用の推進」 「人類の繁栄と世界平和の建設」のための活動強化を確認！

— 平成 31 年 1 月 25 日（金） 第 59 回全国代表者会議を開催 —



平成 31 年 1 月 25 日（金）、東京港区の日産労連・ゆうらいふセンターにて、KAKKIN 第 59 回全国代表者会議を、会員組織と全国 47 の地方 KAKKIN から 205 名が参加する中で開催した。

会議は、司会の中島徹常任理事の開会挨拶から始まり、議長に渡辺理理事（関東ブロック）を選出し、冒頭に原爆被災者への黙祷をささげた。主催者を代表して加藤秀治郎議長が挨拶を行い、続いて支援組織を代表して松浦 UA ゼンセン会長から挨拶を受けた。ご多忙の中ご臨席いただいた来賓は、連合を代表して内田厚副事務局長、国民民主党から小林正夫参議院議員、自民党から森英介衆議院議員、公明党から谷合正明参議院議員の方々に、皆さんからご祝辞をいただいた。

議事では、平成 30 年度主要活動報告・海外視察報告・会計報告・会計監査報告を行い、質疑の後、満場一致で確認された。

議案としては、「核兵器廃絶」「被爆者支援」「原子力平和利用推進」「人類の繁栄と世界平和の建設」の取組みを強化する 2019 年度の活動の基調、具体的活動の取り組み、予算、役員が提案され、質疑の後、4 議案とも満場一致で承認された。

この後、渡邊啓貴議長代行の新役員代表挨拶、永山博之副議長の閉会の挨拶を受け、最後に加藤議長の発声によるガンバロー三唱で会議は終了、2019 年度の活動がスタートした。

昨年からのロシア・中国・アメリカによる核兵器廃絶に向けた国際的環境の悪化、国の第 5 次エネルギー基本計画実現には欠かせない、原子力発電所の再稼働や再生可能エネルギーに関連する技術開発が一向に進まない状況の改善には、従来に増して KAKKIN の役割発揮が求められ、会員組織・中央・地方での連携が必要と全員で決意を新たにされた全国会議となった。また、会議終了後に全国からの参加者の交流会を開催し、多くの方々に参加をいただき親交を深めた。

以上